

大学入試のあり方に関する検討会議 第26回 柴田 補足意見 2021/05/18

1. 「アドミッション・ポリシー」に関して：

総論的事項において、入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー：AP）を定めて行うものであり（P1.15）、他のポリシーとともに具体的且つ明確に示すことが重要である（P1.19）とされるが、現状では、抽象的な「望ましい人物像」など理念的な記述に止まるものが多く、中教審ガイドラインや入試選抜要項で求められる、「可能な限り具体的に設定」されたものは限られている。例えば、昨年度の「大学教育質保証・評価センター」で実施した機関別認証評価の受審7大学中、4大学について、APが抽象的であるなどの指摘・改善が求められている。今後更にAPで具体的内容を提示公表することを徹底推進するためには、入学者選抜改善への具体的な取組も含め認証評価の判定事項として取り上げるなど、積極的な促進対策が考えられる。

2. 大学セクター毎の特性を考慮した検討

総論的事項 6ページ（4）大学入学者選抜の改善の検討に当たっての留意点（種々の役割分担を踏まえた検討）においては、①一般選抜と総合型・学校推薦型選抜との役割分担と②共通テストと個別試験との役割分担、が選抜方式および試験種別による役割分担として留意されている。客観的な具体外形的な種別として当然に考慮されるべきものであるが、加えて受験生の志願・受験・入学にいたる各過程の現況分析においては、添付した別紙参考データに示すように、国立・公立・私立の3大学セクター間で、受験時期が相違する一般入試だけでなく、選抜時期の重なる従来のAO入試や推薦入試においても、受験動向の特徴に明確な相違が認められる。

また記述式問題の出題のあり方について（資料3）においても、4ページ13～23に指摘される如く、大学の出題実態について、国公私間で差異が生じており、その背景が推測されている。

したがって、今後の我が国の高等教育志願・大学入学の改善推進に当たっては、国立・公立・私立、各大学セクターの特性を配慮すべき留意事項として改めて指摘しておきたい。

3. 経済的な状況や居住地域、障害の有無に拘わらず、安心して試験を受けられる配慮について

1) 高校会場の拡充について、

共通テストの学外試験場として、設定されている高校会場としては、その設置目的が2つに大別され、地域によって状況が大きく異なる。一つは、都会の大規模大学の担当する試験場において、受験生数に比して収容できる試験室が学内だけでは不足する場合であり、試験実施運営にはさほどの支障は生じない。一方で、より必要性の高い離島や試験場大学から遠隔地の場合、受験生にとってその恩恵は大きい反面、担当する大学にとっては、職

員の派遣や試験問題の保管管理など大きな負担が生じる。今後、さらに高校会場の拡大を図るためには、これらの地域特性を考慮して、地域毎に高校と大学間での協議の場を設けると共に、従来の日本の試験文化ではタブー視されてきた高校教員や退職教員の任用などの禁忌についても、改めて検討すべきであろう。

2) 周知・公表に関して

本検討会議においてはこれまで、各大学における様々な支援策が紹介されてきた、また昨年度から高等教育の新たな修学支援制度が発足し、大学入学後の修学サポート体制の整備は進められているが、今後さらに入学前の支援対象者に対する周知および受験に至る積極的促進を図ることが求められる。大学の AP による公表周知は当然であるが、個別大学毎の公表では総覧性に乏しく、また認証評価による点検も 7 年ごとで間隔が空いている。

一方進学対象者の入学前後の経済支援の大きな柱となるのは高等教育修学支援新制度であり、受験料などもその支援対象に含まれている。この対象機関として認定される機関要件の申請項目には、「入学者の受入れに関する方針の概要」などとともに、「⑨ 大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること」の欄がある。これらの欄に入学者選抜改善への取組とともに、入学支援に関しても具体的な援助体制等の記述を求め、「確認申請書」に記載された内容を、毎年更新される対象機関リストにおいて公表掲載するか、あるいは活用して掲載公表することなどができれば、一覧性もあり、閲覧者にとって集計などの利便性も高く、具体的な促進策の一つとして検討に値すると考えられる。

受験・入学過程各段階での比率(平成31年度入試)

	国立大学	公立大学	私立大学	
一般入試	受験率	0.72	0.72	0.96
	実倍率	2.70	3.33	3.54
	余裕率	1.13	1.39	3.44
	入学率	0.92	0.77	<u>0.30</u> →0.24
	充足率	1.06	1.08	<u>1.19</u> →0.81
推薦入試	実倍率	2.62	2.41	1.90
	入学率	0.995	0.997	0.810
AO入試	実倍率	3.43	3.36	1.94
	入学率	0.986	0.997	0.934

黒太字は、安定値、細字は平成20年の値

志願・入学過程段階での選択比率

